

がじゅまる

勤続9年 生活支援員
木村 成善

がじゅまるも開所から2年が経ち、漸く軌道に乗り始めました。ガジュマルは幸せの木と呼ばれ、花言葉は、たくさんの幸せです。

がじゅまるは幸せ実現の為に、利用者さんのおうちです。現在、さんご棟7名、るり棟8名が元気に生活しています。

基本理念である「一人一人の福祉(幸せ)、当たり前の生活を支える」という観点から、利用さんの個性とプライバシーを尊重した支援を心掛けています。

最近、職員の間でよく交わされる会話があります。それは「〇〇さん変わったね」という言葉です。恐らく、今まで言えなかった事が、がじゅまるでの生活で本来の自分を表現出来る様になってきた表れだと理解しています。

利用者さんにとっての幸せの実現に向けての1歩を踏み出せたと職員も実感しているところです。これからも利用者さんの要望に応え、それを実現する為に我々職員も励んで参りますので宜しくお願い致します。



てんしゃば

勤続25年 サービス管理責任者
前山 秀邦

共同生活援助事業所てんしゃばは、「利用者が安らげる暮らしを、利用者と共に創っていく」を理念に掲げ、現在、男性ホームそら4名、女性ホームあすかABC13名、計17名の利用者さんが生活されています。

利用者さんは、通勤や通院などに公共交通機関を利用したり、休日は地域のお店で買い物をしたり、移動支援を利用して買い物や外食を楽しんだり、友人と外出をしたりと、本人さん達の希望により沿った生活を送っています。

今年度より地域連携推進会議が義務化され、より地域の方々との関わりが重要になってきています。地域のお祭りや清掃、ゴミ当番などの行事にも参加し、地域の方々との交流を深めてきました。また訪問診療や訪問看護を利用することで、利用者さんが安心できる生活環境も整えています。利用者さん達が地域の中で自分らしく生活していく為に、支援者総勢29名、力を合わせ創意工夫を凝らしながらサポートしていきたいと思っています。

